

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	急変時の対応について、入職時の説明と年1回の救命講習会だけでは不安	勉強会を定期的に行う	○3ヶ月に1回(3月、6月、9月、12月)行う ＜方法＞ ・日勤帯・夜間帯の設定を交互に行う ・発見から救急搬送まで実際にシミュレーションする ・法人内対事業所の研修に参加する。	1ヶ月
2	2	近所の方との交流をもっと増やし地域の一員として貢献していきたい	近所に出かける機会を増やしたり、ホームへ入りやすい雰囲気作りを行う	①近所の子供にホームの畑での芋掘りを呼びかける(回覧板で呼びかける) ②近所の喫茶店の利用を増やし、積極的にコミュニケーションをとっていき、ホームの存在をアピールする③気軽に来所して頂けるよう、その旨を記載した回覧板をまわす	6ヶ月
3	38	日々の業務に時間を費やしてしまいホームの雰囲気にいまひとつ物足りないところがある	入所者との関わりを今以上に増やす	・入所者と一緒に業務を進めることで関わりを増やしていく ・10時のおやつ時職員も一緒に腰をおろし過ごす ・仕事を残してはいけないという思いが強くあり慌ててしまう為入所者の対応がおろそかになるよりは残しておく方が良いことを理解する	6ヶ月
4	35	必ずしも全員が参加できるときばかりと限らず参加できない時のフォローをしていく必要がある	全職員が参加できる環境づくり	・訓練回数を2回/年から4回/年にする。 ・消火器の使用方法、スプリンクラーの機能、非常通報などの絞ったピンポイント訓練の実施	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。